

「ドイツ語第Ⅲ」講座番号一覧表

ドイツ語第Ⅲ	(ドイツ語第Ⅳは111ページ以下に掲載)
--------	----------------------

(担当者名の50音順で掲載)

講座番号	科目名	担当者	曜日時限
101	ドイツ語第Ⅲ	飯田 道子	月5
102	ドイツ語第Ⅲ	大谷 美奈	水5
103	ドイツ語第Ⅲ	大山 浩太	火2
104	ドイツ語第Ⅲ	岡本 和子	火3
105	ドイツ語第Ⅲ	川口 眞理	月4
106	ドイツ語第Ⅲ	木村 裕一	金2
107	ドイツ語第Ⅲ	許 光俊	火4
108	ドイツ語第Ⅲ	シャーベスベルガー・イダ, ガブリエレ	金1
109	ドイツ語第Ⅲ	シュミット, ウーテ	金4
110	ドイツ語第Ⅲ	新谷 崇	月3
111	ドイツ語第Ⅲ	滝藤 早苗	木3
112	ドイツ語第Ⅲ	馬場 浩平	火5
113	ドイツ語第Ⅲ	濱野 英巳	木2

ドイツ語第Ⅲ (レギュラーコース中級)**ドイツ語第Ⅲ 1単位(春学期)****ドイツ語第Ⅲ 1単位(秋学期)**中級へのステップアップ
春学期・秋学期：月5

飯田 道子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

これまでに学んだ初級文法の補充・復習をしながら、中級へのステップアップをはかります。ドイツ語圏についての様々な情報を扱ったテキストを用いて、アクチュアルなドイツ事情への理解を深めると同時に、副次的教材を用いて歴史的な理解も深めていきたいと考えます。テキスト以外の文法練習も随時投入していきます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

授業への出席と積極的な参加を重視します。授業には遅れないようにしてください。遅刻が重なると欠席としてカウントします。学期末に試験を行います。

テキスト(教科書)：

『時事ドイツ語 2020年度版』 Andrea Raab 石井寿子著 (朝日出版) 2020年 ISBN:978-4-255-25434-0

担当教員から履修者へのコメント：

春学期・秋学期をととしてテキストを完成する予定です。授業計画にあげたテーマ以外にも、現代ドイツの様々な問題や歴史に関する問題を適宜取り上げ、参加者による発表などもとりいれながら、ドイツへの理解を深めていきたいと考えています。辞書は必携のこと。

質問・相談：

授業内・後に適宜受け付けます。

ドイツ語第Ⅲ 1単位(春学期)**ドイツ語第Ⅲ 1単位(秋学期)**ドイツの児童文学を読む
春学期・秋学期：水5

大谷 美奈

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

エーリヒ・ケストナーが書いた児童書の『動物会議』がテキストです。ドイツだけではなく日本でもよく読まれているテキストの訳読を通して初級時に習得した文法を確認し、表現力をさらに豊かにすることを目標としています。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

期末テストの結果：50%

平常点 (出席状況, 課題提出状況および授業態度) : 50%

テキスト(教科書)：

Erich Kästner: "Die Konferenz der Tiere" (Atrium Verlag) ISBN: 978-3-85535-991-2

参考書：

辞書を持参してください。

担当教員から履修者へのコメント：

関心を持って読んでください。
予習をして授業に臨んでください。

質問・相談：

授業後に受け付けます。

ドイツ語第Ⅲ 1単位(春学期)**ドイツ語第Ⅲ 1単位(秋学期)**ドイツ語を精読する。
春学期・秋学期：火2

大山 浩太

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

初級文法を学修した方を対象に、さらにドイツ語の文章に親しみ、ドイツ語能力をステップアップさせることを目標にします。比較的難易度の高いテキストも扱いますが、必要な文法復習をその都度織り交ぜながら、1年後に一定の達成感が得られるよう授業を進めます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

授業へ積極的に参加する態度と、学期末の試験により評価します。3回以上の欠席は認めません。遅刻が重なる場合、欠席と見なします。

テキスト(教科書)：

『ドイツ語、次のステップへ！ (Weiter auf Deutsch!)』

伊藤 眞 / Emi Schinzinger / 木村高明 共編

同学社 2019年 ISBN 978-4-8102-0699-9

担当教員から履修者へのコメント：

毎回きちんと予習して授業に臨み、授業に積極的に参加して下さい。独和辞典は各自で必ず用意して下さい。使用する辞典については特に指定しません。

(ドイツ語に自信の無い方は、1年次に使用した文法教科書または参考書もご用意下さい。)

授業中の私語、携帯電話の使用等、授業の進行を妨げた者については聴講許可を取り消します。

質問・相談：

授業の前後に受け付けます。(その他メールでも可。)

ドイツ語第Ⅲ 1単位(春学期)**ドイツ語第Ⅲ 1単位(秋学期)**ドイツ語で話そう
春学期・秋学期：火3

岡本 和子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

ドイツ語 I、II でひと通り勉強した基礎文法を復習しながら、その応用編として文章を読み、様々な場面を想定した会話の練習を演習形式で行っていきます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

平常点、定期的に新しく学んだ表現、単語を使って「ミニ芝居」を創作し、演じてもらいます。

テキスト(教科書)：

『「スタート! 2」〜コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』藤原三枝子、本河裕子、野村幸宏、Carsten Waychert 著、三修社 2019年 ISBN: 978-4-384-13096-6C1084

参考書：

独和辞書 (出版社はどこでも可)

担当教員から履修者へのコメント：

ドイツ語を情報発信ツールとして使う授業です。間違えを恐れずに、積極的に発言してください。

ドイツ語第Ⅲ 1単位(春学期)**ドイツ語第Ⅲ 1単位(秋学期)**文法トレーニング
春学期・秋学期：月4

川口 眞理

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

このクラスではドイツ語文法の定着と語彙力増強のトレーニングを行います。初年度の学習を今一度整理し、ドイツ語の基本原則や文の構造を理解し、読解や作文への応用力をつけます。基礎力を固めるのにはもちろん、ドイツ語検定3級〜2級の受験準備としても適したクラスです。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

平常点 (出席・予習の質) 20% 期末試験 : 80%

遅刻は3回で欠席1回と見做されます。

各期3分の2以上の出席が期末試験の受験資格になります。

テキスト(教科書)：

『多くの練習問題で学ぶドイツ語文法』

眞岩啓子・大島尚子著 朝日出版社 2008年

ISBN978-4-255-25312-1

担当教員から履修者へのコメント：

皆さんの基礎力の定着をサポートするクラスです。1年学習したがまだ色々わからない、自分一人で復習する自信がないという学生を歓迎します。ただしトレーニングを続ける意欲は不可欠です。

ドイツ語第Ⅲ 1 単位(春学期)**ドイツ語第Ⅲ 1 単位(秋学期)**

ドイツ語を読んでドイツを知ろう
春学期・秋学期：金2

木村 裕一

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

ドイツ語の初級文法をひととおり学んだ学生を対象とし、ドイツ語の文章を読むことで読解力や語彙力を身につけてもらうことを目的とします。

授業で扱うテキストはすべてドイツ語圏に関するテーマを取り上げていますので、ドイツ語だけでなくドイツ語圏のさまざまな地域事情についても理解が深められるようになっていきます。

授業では主にテキストの講読を行い、付随した文法問題も解いていくことで初級文法を振り返りつつ、徐々に高度な文法事項を導入していきます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

・各Lektion毎に行う小テストと、期末に行う文法テストを主な評価対象とします。

・試験成績に加え、授業中の発言や態度などから算出する平常点も含め、総合的に評価します。

・授業回数の1/3以上欠席した学生は、理由にかかわらず評価の対象としません。

・10分以上の遅刻は、理由にかかわらず3回で1回分の欠席とみなします。

テキスト(教科書):

『知りたいドイツ語～読みながらステップアップ』齊藤太郎・Siegfried Kohlhammer著 朝日出版 2018年 ISBN:978-4-255-25403-6

担当教員から履修者へのコメント:

・予習:各回、講読する範囲を指定するので、その箇所を読んでくること(30分～1時間程度)。

・復習:各Lektionごと的小テストに対応できるよう、テキストを確認すること(30分～1時間程度)。

・フィードバック:小テストは採点后に返却します。

・その他:ドイツ語辞書は必ず持参すること。また初級文法時に使用した教科書を携帯してもよい(適宜参考とする)。

その他の教材に関しては授業時に指示します。

質問・相談:

質問・相談は、授業前後に受け付けます。

ドイツ語第Ⅲ 1 単位(春学期)**ドイツ語第Ⅲ 1 単位(秋学期)**

ハンス・ハインツ・エーヴェースの短編を読む
春学期・秋学期：火4

許 光俊

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

約百年前に書かれた、ドイツで法学部を中退した、一時期流行しつつも、ナチと衝突した、一種流浪の作家の、根無し草的な文学の一端に触れたい。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点。

小テストなど。

テキスト(教科書):

コピーを配る

担当教員から履修者へのコメント:

毎回必ず辞書を持ってくること。

ドイツ語第Ⅲ 1 単位(春学期)**ドイツ語第Ⅲ 1 単位(秋学期)**

Deutsch für den Alltagsgebrauch (毎日使えるドイツ語)
春学期・秋学期：金1

シャーベスベルガー・イダ, ガブリエレ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

ドイツ語圏を旅行中の日常的な状況によりおいて、また役所の窓口で、あるいは仕事の現場などで、簡単なドイツ語を駆使して表現が出来るようになる事が目標です。ドイツ事情についても扱う予定

なので、ドイツの文化を身近に感じてもらえればと思います。また特に語彙力をつけることに重点を置きます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席状況、授業の積極性、小テストの結果、宿題の提出する状況などのよって成績を評価します。

注意: 会話の授業ですので、参加が大切です。

テキスト(教科書):

studio [21] Das Deutschbuch, A1.1 (Lektion 1-6), Kurs-und Übungsbuch, Cornelsen Verlag, Berlin.

Ab Lektion 7 wird das Unterrichtsmaterial von der Lehrerin gestellt (Lektion 7からはコピーを配布します)

ドイツ語第Ⅲ 1 単位(春学期)**ドイツ語第Ⅲ 1 単位(秋学期)**

Deutsch sprechen und hören - 話すドイツ語, 聞くドイツ語
春学期・秋学期：金4

シュミット, ウーテ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

ドイツ語を今までより聞き取れるように、よりスムーズに話せるように、つまりコミュニケーション能力を養成することをこの授業の目標とします。日常生活のさまざまな場面を想定し、実践的なパートナートレーニングを通じて自分の日常生活を描写したり、自分の考えや感情を表現したりする練習を重ねます。いうまでもありませんが、そのため単語を覚える必要があります。語彙習得のほかに基礎文法の復習もします。

教科書には写真やドイツ語圏の事情や習慣を紹介するテキストが含まれ、ドイツ語圏の国々をより知ることもできます。DVDやインターネットなどを用いて、ドイツの文化に触れる機会も多く設けるようにしたいと思っています。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点(四、五回の小テスト、提出した宿題、十分な予習復習のうえで出席し、アクティブに授業参加しているか)

テキスト(教科書):

Panorama Deutsch als Fremdsprache

A1: Kursbuch Gesamtband

ISBN/Verlag: ISBN 978-3-06-120482-2, Cornelsen Verlag

担当教員から履修者へのコメント:

授業の積極的な参加を重視します。失敗を恐れずに積極的に発言してください。

出席が評価のための不可欠の前提です。4回以上の特別な事情のない欠席は認めません。

質問・相談:

授業終了後、メール: uschmidt@keio.jp

ドイツ語第Ⅲ 1 単位(春学期)**ドイツ語第Ⅲ 1 単位(秋学期)**

精読初歩——啓蒙と歴史の中の音楽

春学期・秋学期：月3

新谷 崇

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

春学期は、欧州史ならびにドイツ史を略述した簡単なテキスト数種を用いて訳読の基礎を訓練する。秋学期は、広く文化的教養を深めながら読解力を養うべく、美術史や文学史にも目配りしつつ、主に弦楽四重奏に関するテキストを読み進める予定。訳読テキストは履修者の構成および習熟の段階に応じて適宜選定する。

形式としては訳読。

目的は精読の訓練。

学術論文に準ずるテキストを自力で読み解ける水準への到達を目標とする。

なお、訳読と並行し、初級文法の徹底的復習と補足のため、毎回範囲を指定して基礎的文法事項の小テストを課す。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

原則として毎回実施する予定の文法小テストの成績、ならびに訳読の担当および議論への貢献度の評価からなる平常点が基本。

テキスト(教科書):

文法教材は初回授業時に指定する。毎回の小テストで使用するの
で必須。各自購入すること。

訳読テキストは初回以降、進捗の状況に応じて随時プリントを配
付する予定。

参考書:

少なくとも独和辞典は毎回必ず持参すること。

多様なコンテンツを収録した電子辞書は利点が多い。積極的に推
奨したい。

ドイツ語第Ⅲ 1 単位(春学期)**ドイツ語第Ⅲ 1 単位(秋学期)**

ドイツ語の読解力を身につける

春学期・秋学期：木3

滝藤 早苗

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業は、ドイツ語の初級文法を一通り学習し終えた学生を対象
としています。文法事項の復習をしながら、ドイツ語の文章を精読
します。テキストの長さは一課一課進むごとに長くなっていきます
ので、無理なく長文読解の能力と語彙力が身につきます。使用する
テキストは、主にドイツとドイツ語に関することがテーマとなっ
ていますが、日本とドイツの比較という視点からも論じられており、
自国についての知識や理解も深められる内容です。また、必要に応
じてCDやDVDなどの補助教材も用います。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席状況や授業態度(毎回予習を必要とします)、試験(期末試験・
小テストなど)の結果により評価します。

テキスト(教科書):

Siegfried Kohlhammer・斎藤太郎著『知りたいドイツ語～読みながら
ステップアップ～』(朝日出版社、2019年、ISBN:978-4-255-25403-6
C1084)

参考書:

辞書は毎回の授業に必ず持参してください。

担当教員から履修者へのコメント:

初回には授業の方針などについて詳しく説明しますので、必ず出席
してください。

質問・相談:

授業の前後に受け付けます。

ドイツ語第Ⅲ 1 単位(春学期)**ドイツ語第Ⅲ 1 単位(秋学期)**

ヨーロッパ「近代」を読み解く①

——世界像の時代

春学期・秋学期：火5

馬場 浩平

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

ルネサンスから現代に至るヨーロッパを考えると、「近代」という
概念は頻りに言及されるものの、なかなかそのイメージがつかめな
い、というのが実情ではないだろうか。20世紀最大の哲学者ともい
われるマルティン・ハイデガー(Martin Heidegger, 1889-1976)は、
1938年の論考『世界像の時代』において、「世界像」(Weltbild)とい
う概念をもとにルネサンス期から20世紀に至る世界観を大胆に提示
した。現代思想を切り開いた思想家としても、またナチスへの加担者
という問題を巡っても、様々な観点から議論の対象になってきたハ
イデガーだが、彼の『世界像の時代』は、ハイデガー哲学を知るう
えで教科書的なテキストであると同時に、「近代」のイメージを得る
助けにもなると思う。本授業では、この『世界像の時代』を専ら通
読しながらハイデガーの「近代」(ルネサンスから現代)について受
講生と共に考えていく予定である。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席(5回以上の無断欠席は不可)、授業態度(スマホ禁止)、毎回の
予習、授業中の発言、最後の期末試験で評価します。

テキスト(教科書):

Martin Heidegger: Die Zeit des Weltbildes. In: Gesamtausgabe. Bd. 5.
Holzwege. Frankfurt am Main: Vittorio Klostermann. 1977

初回に、講読テキストを配布します。

参考書:

現代思想 臨時増刊号 1979年9月(総特集 ハイデガー)

担当教員から履修者へのコメント:

基本的にはドイツ語テキストの精読ですので、時間をかけてじっく
り精読していく予定です。ハイデガーの文体に慣れるまで時間がか
かりますが、「泥臭く地道に」辞書をひきながら一つ一つじっくり深
く理解していきましょう。そのため、『クラウン独和辞典』(三省堂)
や『独和大辞典』(小学館)など、中級以上の辞書を必ず持参してく
ださい。

質問・相談:

また、受講者のレベルに合わせて授業の進度、ならびに内容を柔軟
に変えていきます。

ドイツ語第Ⅲ 1 単位(春学期)**ドイツ語第Ⅲ 1 単位(秋学期)**

ドイツ語コミュニケーション能力の養成

春学期・秋学期：木2

濱野 英巳

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

何よりも「ドイツ語を使用する」ということに重点を置いて授業を
進めます。一般的な外国語の授業では「文法」や「語彙」を基礎か
ら応用へと体系的に学ぶことが多いため、いざ話そう、使おうと思
った時に、実際の「文脈」や「意図」と上手に結びつかない、とい
う問題が起こります。これが「知っているけど使えない」という
状況です。この授業では、一年次に獲得したドイツ語の「知識」を
真に意味のある「技能」にするための「学びほぐし」を行います。
最初から細かい文法や発音を気にするのではなく、様々なリソース
(歌、絵本、レシピ、新聞、雑誌、Podcast、YouTubeなど)に触れつ
つ、試行錯誤と失敗体験を通じて、文法を再発見し、本当に必要な
語彙やフレーズを身につけて行きましょう。慌てず、緊張せず、ま
ずはドイツ語を声に出すこと、ドイツ語を使用する楽しさを感じて
ください。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席状況、課題への取り組み状況などを考慮して総合的に評価しま
す。

テキスト(教科書):

オリジナルの教材を配布するため、必要ありません。

参考書:

必ず独和辞典を持参してください。

担当教員から履修者へのコメント:

この授業では、ただテキストを読んだり、用意された会話例に基づ
いた会話練習をするのではなく、「自分自身が話したいこと」「自分
自身が知りたいこと」を大切に、「本当の意味での」総合的なドイ
ツ語コミュニケーション能力の向上を目指します。「とにかくドイツ
語を使ってみたい」という意欲を持つ学生を歓迎します。